北海道自然歩道の路線選定とそれにともなう国立・国定公園の公園計画の変更に関するパブリックコメントの実施結果について

1 意見募集方法の概要

1)意見募集の周知方法 計画案の概要を環境省ホームページに掲載 記者発表 地元説明会の開催 地元紙掲載

2)計画案の確認方法

環境省自然環境局自然環境計画課、西北海道地区自然保護事務所、東北海道地区自然 保護事務所、北海道環境生活部環境室自然環境課及び各支 庁で計画案を閲覧可能

- 3)意見提出期間 平成15年4月21日(月)から5月19日(月)まで
- 4)意見提出方法 郵送、ファクシミリ又は電子メール
- 5)意見提出先 環境省自然環境局自然環境計画課

2 意見募集結果

・電子メールによるもの 10通・ファクシミリによるもの 2通・直接提出 1通合 計 13通

上記意見募集の他、4月23日から25日に帯広市、札幌市、旭川市、函館市にて説明会を開催

北海道自然歩道の路線選定とそれにときなう国立 国定公園の公園計画の変更に関するパブリックコメントの実施結果

	意見の概要	件数	対 応 方 針
1	趣旨には賛同するが、検討の余地があるとする意見 *いかに楽しんでもらうかという意識を持ったプログラム作りをしてほしい。 *車の利用を意識して道路との連携をうまく図ることによる北海道らしいものにしてほしい。 *日本一新しい自然歩道として先進的な整備が行われることを期待する。 *箱物の整備は最小にすることを求める。 *を期の除雪等、道内特有の歩道管理を求める。 *この事業によって歩く文化が根付くことを願っている。 *地域住民に愛される道になるよう、地元住民やNPOとの連携を図り、賢い歩道として次世代に残してほしい。		ご意見の趣旨を踏まえ、適正な整備や管理が図られるよう整備主体である北海道に伝えるとともに、環境省としても協力してまいかにいと考えます。
2	北海道自然歩道に反対する意見。 * 自然歩道は北海道の魅力を損なうので必要ない。 * 今回のルート選定は単に話題性をねらったものに過ぎない。		北海道自然歩道は、北海道の広大かつ優れ れ た自然及び変化に富んだ自然、さらには人文・ 施設資源の状況などを把握した上で、地域の 特色 魅力を活かした自然歩道のネットワーク を構成するようなものをコンセプトとしています。
3	事業内容や実施方法に関する意見 *自然歩道を米国やカナダのように自転車や馬での通行を可能にしてほしい。 *これからの観光北海道への期待が持てるような自然歩道にしてほしい。 *新しい宿泊 B&B スタイルへの可能性を求める。 *車道が隣接する歩道、冬期の通行、ヒグマ等の被害について安全性を十分考慮することを求める。 *特に、若い世代の利用者層分析を求める。 *整備に当たっては、地元の意見を最大限取り	5件	路線選定については、パブリックコメント案のとおりとします。 ただし、路線のうち、、北海道チロル州を行く」というテーマ案については、見直しを行います。 今回いただいた意見については、今後、路線の見直しの際の参考にします。 整備に当たっては、地元の意見を最大限取り入れながら進めていきます。

	入れること。 *看板や各種資料を作成する際には、アイヌ語地名やその意味を併記してほしい。 *路線のテーマの一つに「北海道チロル州を行く」があるが、北海道は北海道であり外国の地名を使う必要はないので修正を求める。		
4	自然公園区域内への自然歩道の設置に関する意見 *自然公園区域内への自然歩道の設置の必要性 について明確にする必要がある。 *自然公園における既存の歩道と自然歩道との 整備水準の明確化を求める。 *つぎ込む予算に見合った効果(需要)を求め る。 *公園内の登山道とは峻別したようであるが、 リンクできるものはリンクした方が自然公園 の理解につながる。 *国立公園内を通過する区間については、トイレ・駐車場などを安易に整備すべきではない。	4 +	今回は北海道自然歩道の決定に伴い、国立 国定公園区域内を通過する部分のうち、自然とのふれあい等を目的とする公園利用上必要な区間について、計画に位置付けるものです。 整備水準については、公園内外に関わらず、現場の状況や関係者との調整を通じて、決定される予定です。 ・アポイ岳や羊蹄山等については、公園内の登山道を北海道自然歩道に位置付けています。 施設整備については、利用状況等を勘案の上、慎重に行う予定です。
5	その他意見 *パブコメを行う際はできるだけ説明会を開催してほしい。 *環境省関連のパブコメでは、計画案や概要説明だけで、背景やコンセプトの説明がない場合が多いので、改善を求める。 *意見聴取結果の公表を求める。	1件	今後、パブリックコメントを実施する際の参考にします。